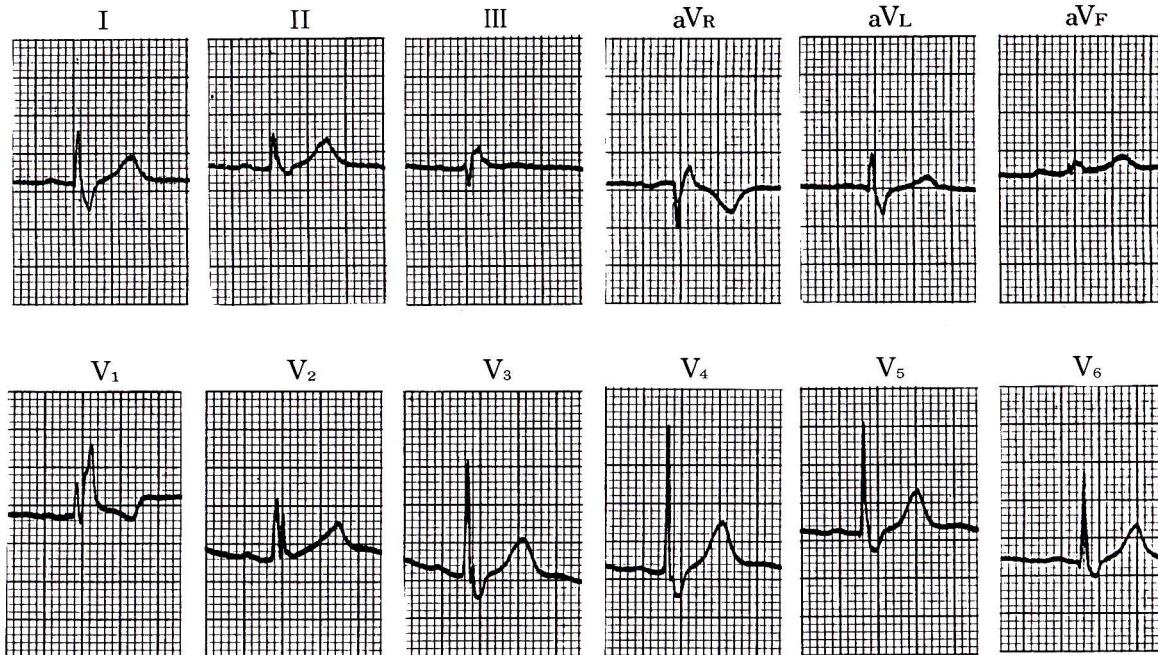


症例 25

●24歳 男

- 会社の検診で心電図異常を指摘された。とくに自覚症状はない。



63

- 1) QRS幅は正常か。
- 2) V₁のQRS波形をどう考えるか。

完全右脚ブロック

電気軸は正常範囲。QRS幅は0.12秒で延長している。V₁ではRSR'パタン（R<R'）を示し、I, II, aVL, V₃からV₆に浅いが幅広いS波を

認める。この所見は完全右脚ブロックの所見である。

MEMO

〈右脚ブロック〉

右脚の伝導が障害されると刺激は左脚を通って心室内へ伝播される。V₁では初期の中隔興奮によりR波が形成され、続いて左室が興奮するためS波が生じ、次に遅れて右室に興奮が伝わるためR'波が形成される。この右側胸部誘導におけるRSR'パタン（R<R'、かつR'波の幅が広い）が右脚ブロックの特徴であり、QRS幅が0.12秒より大のものを完全右脚ブロック、0.10秒

以上で0.12秒以下のものを不完全右脚ブロックという。右脚ブロックではI, aVL, V₅, V₆に浅いが幅広いS波を伴うことも特徴の一つである。右脚ブロックは健康な人にも認められる所見であり、他に器質的心疾患を疑わせるsignがない場合には、特別な処置を必要としない。